

科目区分	専門教育科目	科目名	リハビリテーション		科目コード	17F380	担当者	北田 智則			
対象学生	介護福祉士コース1年生	学期区分	後期	単位数	2	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
リハビリテーションの理念と基本原則、展開過程について学び、日常生活の自立支援及び社会生活能力の維持・拡大の援助を理解する。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	リハビリテーションの理念と基本原則を学ぶ										
2.	障害の程度とその影響を学ぶ										
3.	リハビリテーションの展開過程を学ぶ										
4.	日常生活の自立支援及び社会能力の維持・拡大への援助を学ぶ					○	◎	◎	◎	○	○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（80%） 受講態度（20%）					
テキスト、パソコンを使用し講義形式にて授業を展開する。またグループワークや実技も実施する。											
準備学修						課題等への対応					
事前にテキストを読み予習しておくこと。（準備学習の目安の時間30分程度）						理解の程度に応じて、不十分である場合はレポートの提出を求める。					
授業計画											
第1回	リハビリテーションの考え方・概念										
第2回	自立に向けた視点からリハビリテーションを考える										
第3回	尊厳を考える介護										
第4回	QOLの考え方										
第5回	ノーマライゼーションの実現										
第6回	リハビリテーションの実現（事前評価、リハ計画の作成、実施、実施後の評価）										
第7回	病院、施設におけるリハビリテーションを考える										
第8回	在宅におけるリハビリテーションを考える										
第9回	日常生活の自立支援及び社会生活能力の維持拡大への援助										
第10回	ICFの考え方、ICFの視点に基づく自立支援										
第11回	ICFの視点に基づくアセスメントの実際										
第12回	介護予防										
第13回	介護予防事例										
第14回	リハビリテーション分野の専門職との連携										
第15回	リハビリテーションの観点に基づく介護のあり方を考える										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
介護の基本 I（新・介護福祉養成講座第3巻） 中央法規出版						日常生活におけるリハビリテーションの実践そのものが利用者の潜在能力を高めていくことをよく理解して下さい。					